

第53回 二本松自治会定期総会 議案書

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

- 【議案】 第1号議案 平成24年度 活動報告の件(会長) 及び
決算報告・会計監査報告の件(会計・会計監査)
第2号議案 平成25年度 ブロック長承認 及び 役員選出の件(会長)
第3号議案 会則改訂の件(会長)
第4号議案 平成25年度 活動計画及び予算 審議・承認の件(会長)

第1号議案: 平成24年度 活動報告の件 及び 決算報告・会計監査報告の件

【I】 平成24年度 活動報告 (会長)

平成24年度の活動は、平成23年度の活動方針・内容を踏襲しつつ、新規事業である第五中学校地域防災会の立上げ、避難所運営マニュアルの作成に注力した結果それを完成する事が出来ました。特に、「避難所運営マニュアル」(初動期～撤収期までを2分冊で作成)の開発は、調布市内で最初の物となり、「調布市防災の日」に合わせ公開されました。
具体的な活動・行事実績は、下表の通りです。

表1: 平成24年度 活動報告 主な行事・外部団体主催会議等への参加状況

月	日	行事名・活動状況	参加者・備考
4	8	第64回 多摩川クリーン作戦	参加者: 38名
	10	三小地区防災対策会議	出席: 会長・企画
	28	「調布市 防災教育の日」各校同時防災訓練 (注1) 五中: 会長・副会長以下(7名) 三小: 企画以下(4名) 飛田給小: 企画以下(7名)	参加者: 18名
	28	「五中防災会」設立打合せ	出席: 会長・ 企画補佐
5	12	調布市水防訓練	参観: 会長・企画
	14	三小地区合同防災訓練反省会	
	20	第52回 二本松自治会定期総会 ・全議案承認 ・出席=34名、委任状=425名、合計459名>424名	
	23	飛田給小避難所運営委員会	出席: 会長・企画
	30	「五中防災会」打合せ →五中防災会長=二本松自治会長(荒井)就任	出席: 会長・副会 長・企画補佐
6	2	バス旅行「潮干狩り」 ・海ほたる→金田海岸潮干狩り→浜焼き→温泉→ゲートブリッジ	参加者: 84名
	3	味スタ感謝デー(自治連協出店)	不参加
	9	防災講演会・地域防災活動報告会	参加: 企画
	9	自治会連合協議会(略称:自治連協) 定期総会	欠席
	17	子供会補助金説明会兼補助金支給(4グループ) ・飛田給小: 3南 D(76名、¥22,800) ・飛田給小: 3南 E(52名、¥15,600) ・三小: たんぽぽ(96名、¥28,80)	

		・三小:のびっこ(67名、¥20,100)	
	24	二本松自治会ゴルフ会	参加者:22名
	27	五中防災会 総合防災安全課から「避難所運営マニュアル作成のためのガイドライン」の説明受講	出席:会長、 鹿野内
	28	第1回 西部児童館運営会議	出席:企画
	29	飛田給小避難所運営委員会	出席:企画
7	4	西部児童館祭り実行委員会	出席:企画
	25	五中防災会:会則制定、「避難所運営マニュアル(初動期編)」検討、備蓄倉庫の点検計画検討	出席:会長、企画 補佐、鹿野内
8	4	五中防災会:「備蓄倉庫・校舎レイアウト確認・点検」実施	出席:会長、鹿野 内
	29	五中防災会	出席:会長
9	8	BBQ大会実施 ・かき氷機、大型炊飯器、テント、等をレンタルし実施。 本年度は、参加者用テントを増設。 ・慰労会を児童館会議室で実施	450名(85%) (申込531名) 小学生以下 217名
	11	「10月28日調布市総合防災訓練」住民説明会	出席:会長
	12	H24年度赤い羽根共同募金説明会	欠席
	中旬	若宮神社例大祭(寄付¥10,000)	
	中旬	敬老金(¥3,000):満70歳以上の世帯へ支給	97名
	27	「西部ふれあいのつどい」実行委員会	出席:企画
10	10	青木病院 秋祭り	ビール券寄付
	14	西部地区小地域交流事業(西部ふれあいの集い)	協賛金納付
	20	五中祭	出席:会長
	27	「調布市災害時要援護者避難支援プラン事業」説明会	出席:会長
	27	調布市分譲マンションセミナー	出席:会長・企画
	28	調布市総合防災訓練(五中): 二本松自治会は「道路啓開担当」として出場	参加者:7名
11	3	三小地区運動会	参加者:会長
	11	第65回 多摩川クリーン作戦	参加者:31名
	18	西部児童館祭り(飲み物・きなこマカロニの配布担当) 本年度から「駐輪場警備」も担当。	支援者:8名
	25	二本松自治会ゴルフ会	参加者:20名
	28	五中防災会	出席:会長
12	15	地域防災セミナー(日赤看護大)	出席:会長
	22	西部児童館クリスマス・マジックショウ	参加者:183名
	26	五中防災会:「避難所運営マニュアル」査読	出席:会長
	28	雨天のため中止	参加者:20名
	29	年末見回り実施	
1	5	自治会役員新年会	参加者:13名
	8	自治連協 新春懇親会	参加:企画
	19	凧揚げ大会・自治会独自多摩川クリーン作戦 ・45Lゴミ袋x6袋を回収 ・参加者=25家族(大人=29名、子供=40名)	役員:7名 参加者:69名
2	21	第2回 西部児童館運営会議	出席:会長・企画
	23	地域防災セミナー(日赤看護大)	出席:会長
	27	五中防災会	出席:会長
3	16	立川防災館体験防災訓練	出席:会長・企画
	中旬	小学校卒業記念品(ICレコーダ)贈呈(48名)	会長・他役員

①
対象が2人
11:25
↓
1人分です。
(平山)

20	日赤救急法基礎教育受講	出席:会長
27	五中防災会	出席:会長

(注1)調布市防災教育の日:東日本大震災を受け、調布市が全国に先駆けて設定したもので、毎年4月第4土曜日が指定されています。この日は、調布市の全小学校・全中学校において学校・保護者・地域の連携による防災教育と防災訓練(避難訓練、保護者引き渡し訓練、避難所運営訓練等)が、(各々独自に)一斉に行われます。

[Ⅱ] 決算報告・会計監査報告 (会計・会計監査)

(1) 会計報告:

平成24年度収支の概況及び主要偏差理由は、以下の通りです。

[収入に関して]

- ・会費＝予算比98.4% ほぼ予算通り。
今年度、5ブロック(11名)全員退会(退会理由不明)。
- ・補助金＝予算比101% 予算通り
- ・全体収入＝予算比99.5% ほぼ予算通り。

[支出に関して]

(a) 事務費・行動費

- ①市役所等への出張は、自家用車の使用を避け原則バスを利用しました。
交通費は、原則バス代(往復¥400)支給としました。
- ②各種会議では茶菓子・茶の提供をやめ、夏季役員会時のみソフトドリンクを出しました。
- ③資料は極力過去資料を修正しながら使用する事で、原則筆耕料を割愛しました。
- ④事務費+行動費＝予算比107.1%で終了しました。

(b) 福利厚生費

- ①敬老金＝予算比88.2%
H23年度実績107名を考慮しH24年度予算110名としたが、退会者増等により高齢者数も減少した。
- ②バーベキュー大会＝予算比110.6%
日差しが例年強いため借用テントを増やしたため。
- ③地域内交流＝予算比77.2%
ポーリング大会(2月予定)が会場の都合で出来ず予算未達。テニス部創設準備会を行った

(c) 防災会費

防災ジャケットの購入(調布市市民防災組織補助金額相当)を今年度も実施。

(d) 会議費

全体費用＝予算比62.3%
総会懇親会の食材を半減した事と役員新年会の参加者が大幅減少したため、大幅な費用減となった。

(e) 通信費

全体費用＝予算比93.1%
会長・副会長・企画にWillcom携帯電話4台(2回線)を支給している。無料通話で済んだ。

(f) 支出全般

予算比93.6%となり、予算管理機能が十分機能していると思われます。
詳細は、別紙:「平成24年度 決算報告」を参照願います。

[全体に関して]

差引収支(-¥358,680)に対して、-¥155,349で決算。対予算比約20万円改善。

(2) 会計監査報告: 適正に処理されており、問題は有りません。

〔総会資料〕 二本松自治会(平成24年度)財産目録

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目・名称	所在				備考
1. 流動資産		本年度末	前年度末	増減(△)	
現金		125,704	162,009	△ 36,305	
普通預金	みずほ銀行	3,586,017	3,985,381	△ 399,364	<預金通帳残高>
(内、仮受金)		0	0	0	
定期預金		0	0	0	
仮払金		0	0	0	
合計		3,711,721	4,147,390	△ 435,669	
2. 固定資産		購入金額	数量	取得年月日	
野外テント	物置内	180,000	1式	S62.7.18	
住宅案内図	町内設置	438,900		H10.5.30	
物置	町内設置	135,814		H15.7.9	
ハーフキューセット	物置内		1式		
のぼり・台	物置内	30,000	1式		
防災テント	物置内	38,473	1式	H17.3.9	
住宅案内図	町内設置	876,960	2基	H17.9.21	張替を含む (2箇所)
合計		1,700,147			
*購入(設置)金額が2万円以下の物品については、少額資産として計上省略					

二本松自治会会則(第28条)及び同会計規程(第5条)に基づき、平成24年度の収支決算について上記の通り報告致します。

平成25年 4月16日 会計担当

金子 忠義



会計監査報告書

上記の会計報告に関して、各帳簿・支出金領収証等の関係書類を監査した結果、適正に処理されていたことを報告致します。

平成25年 4月17日 会計監査

小泉 洋一



平成25年 4月23日 会計監査

Lin MC Group 株式会社

代表取締役 蓮井 清子



残高証明書



182-0035

東京都 調布市
上石原 3-33-26-302

二本松自治会 様

平成 25 年 3 月 31 日 現在

金額合計	¥3,586,017※
------	-------------

(金額合計は当行所定の印字機で記入いたします。)

種類・番号	金額	摘要
普通預金 1942531	3,586,017	
	以下余白	

貴ご名義勘定の残高は上記の通りでございます。

平成 25 年 4 月 1 日

株式会社 **みずほ銀行**
(店名) 調布支店



*1047140

- (注) 1. この証明書の金額は訂正いたしません。
- 2. 預金の残高には他店券によるご入金分も含まれております。

Form No. FT-1100-5HZ-86400-0000R-7YD (1) 11-TMP-000000002

第2号議案：平成25年度 ブロック長承認 及び 役員選出の件

[I]平成25年度 ブロック長候補 (会長)

平成25年度は、下記の方にブロック長を御願い致します。(敬称略)
マンション理事(ブロック長)は、各マンションの総会時期に変更になります。

ブロック	ブロック長候補者名
第1ブロック	吉村 洋子 ✓
第3ブロック	比嘉 直 ^{ひが なお} R
第4ブロック	和泉 佳子 R
第6ブロック	西本 美則 ^{みのり} ✓
第7ブロック	水野 哲夫 ✓
第8ブロック	—
第9ブロック	鈴木 イツノ ✓
第10ブロック	富田 聡 ✓
第11ブロック(メイツ調布)	諸角 昭男 ^{もろずみ} ✓
第12ブロック(GS ハイム)	小西 俊明(兼任)
第13ブロック(サンペール)	松井 剛 ✓
第15ブロック(コスモ)	安藤秀樹、平山四郎 ✓
第16ブロック(ガーデンフォート)	近藤陽次、中村聖司 ✓

住み始めて30年
田中さん
(荒井さん) 村上さん

[II]平成25年度 役員候補 (会長)

平成24年度役員会として、次の通り「平成25年度 役員」を推薦致しますので、御承認願います。
(敬称略)

役職名	定員	候補者名(新任・再任)	担当分野
会長	1名	荒井 清勝(再任) (任期:3年間)	
副会長	数名	羽鳥 眞弘(再任) (任期:3年間)	IT部会、BBQ
事務局			
企画	数名	石塚 克人(再任) 筆頭企画	防災、バス旅行
		大森 和幸(新任)	行事全般
		平山 四郎(新任)	スポーツ部会
		井下 知子(新任)	児童、環境美化
企画補佐	数名	必要に応じて役員会で選任する(会則第19条)	
会計	1名	金子 忠義(再任)	
書記	1名	(兼)荒井 清勝(新任)	
広報	2名	小西 俊明(再任)	
		鈴木 イツノ(再任)	
会計監査	2名	小泉 洋一(再任) ✓	
		根本 忠雄(新任) ✓	
顧問	数名	空席とする。	

規約での役員ではないが、そうか (根本)

・青木病院 坂井さん

02-7

バス旅行参考
性格の良さが集まる

第3号議案： 会則改訂の件（会長）

[暫定予算制度の導入]

(1) 現状の問題点

本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までです(会則29条)。4月初旬には、決算書類を整備し、会計監査を行っています。定期総会は、会計年度終了後2ヶ月以内に実施(会則第11条)する事になっており、議案書の作成・配布・出席票/委任状の回収期間を考慮すると通常5月下旬開催となります。新年度の予算も、この定期総会で提案・審議・承認されます。即ち、4月1日から定期総会(5月下旬)までの期間は、「予算の空白期間」となっています。本来予算執行が出来ませんが、数年前からバス旅行(80~100万円規模)を実施しています。また、定期総会での予算案承認が遅延する事も考えられます。

(2) 会則改訂の提案

自治会活動は、「任意団体の活動」ですの厳密・詳細な会則運営を必ずしも必要としませんが、健全な自治会活動を保証するためには、適切な規程による運用が重要です。そのため、次の会則改訂案を、提案します。

[現状] 規程なし

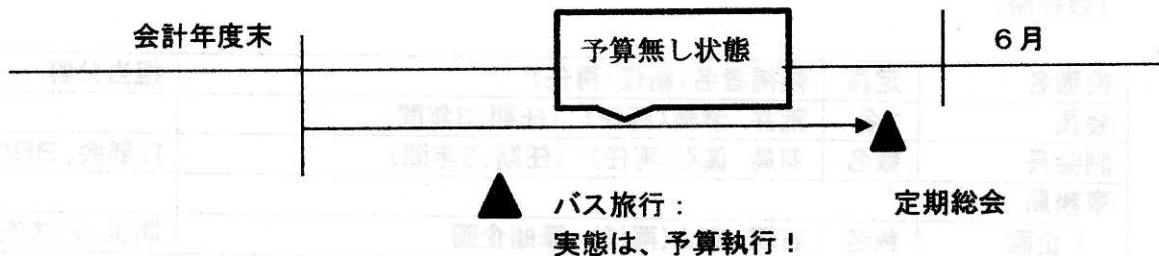
[改訂] 第16条(役員会)

役員会では、翌年度開始(4月1日)後から最長6ヶ月以内の期間の暫定予算を決定することが出来る。

新第30条(暫定予算)

当年度予算額の二分の一を超えない範囲で来年度の暫定予算を、設けることができる。来年度予算が決定次第暫定予算執行分は、実行分として予算内訳に組み入れる事とする。

現行第30条以降は、順次繰り上げるものとします。



[役員会議長の変更及び企画機能の強化]

(1) 現状の問題点

会則第21条(役員会の組織・機能)により、「役員会の議長は、会長とする」事になっています。現状、役員会は「会長報告により大半の報告・審議事項の提案及び審議」がなされています。この状況を役員によっては、「会長の一方的な意見で決定される」と理解される面があります。

(2) 会則改訂の提案

会則第21条を、下記の通り変更する。

[現状]第21条 (1)会長は、この会を代表して会務を総括し、役員会の議長となる。
(3)企画は、事務局を統括し、自治会事業活動の企画立案等を行う。

[改訂]第21条 (1)会長は、この会を代表して会務を総括する。
(3)企画は、事務局を統括し、役員会の議長となると共に、自治会事業活動の企画・立案・実行推進・進行管理、等及び予算原案の取り纏めを行う。

[I]平成25年度 活動方針（会長）

平成25年度の活動方針を、次の通り提案致します。

(1) 基本方針：

① 透明で公平な自治会運営の推進を図る。

自治会活動では、役員のなり手がなく役員が固定化する傾向にあります。そのため、一般的に活動が慢性化したり、新規事業の創出が困難になったり、極端な場合には不正経理の温床にもなります。

本自治会では、自治会活動の透明性確保のため活動内容を積極的にホームページ上に公開しております。その他、役員会での理事諸氏のより自由な発言を確保するため、議長を会長から事務局(企画担当)に変更する事としました。

② 大震災を想定した具体的で実際的な防災活動と避難所運営研究を継続的に行う。

平成24年度は、五中防災会の立ち上げに注力し、調布市内で一番早く「避難所運営マニュアル」を作成しました。

本年度は、「避難所運営マニュアル」の作成上で検討された課題事項や「避難所運営マニュアル」の内容検証の支援や研究を、五中防災会を支援する形態で引き続き行っていきます。またマンション会員に対しては、各マンションが連携して震災にどう対応するか検討する組織を立ち上げたいと考えています。

また、防災に関する技術力向上のため、特定非営利活動法人「日本防災士機構」が認定する「防災士資格」を取得する事や、日赤看護大主催の「地域防災セミナー」に理事を中心として参加して頂き、防災技術力の向上に注力して行きます。

③ 会員数減少への対応推進

国土交通省「マンション標準管理規約」(平成23年)の適用により、自治会費の一括納付が不可(例:サンパール調布・多摩川、センチュリーリバーサイド)、即ち退会となるケースが発生しています。また、ブロック全員が理由不明で退会するケースも発生しています。

これに対しては直接的な会員勧誘活動も引き続き実施して行きますが、テニス部創出等の新規事業を含め各種行事の魅力度を上げる事により、会員数の維持・増加を図りたい。

(2) 分野別活動計画

分野別活動計画を、次表の通り提案します。

項番	分野	事業名	新規	特記事項
1	情報発信	ホームページ(HP)運営		★五中防災会コーナー新設 防災情報の本格的発信を行う。
2	会員・ 地域内交流	BBQ(バーベキュー)大会		実施日:2013年9月7日(土) 有料化(参加費:¥100徴収) 環境美化・防災行事併設
		バス旅行(いちご狩り)		実施日:2013年4月21日(日) バス3台。 ※実施済
		工場見学	★	実施日:2013年9月28日(土) 工場見学(崎陽軒・日本航空・キリン) 40名限定(整備工場見学制限)。
		テニス部創設	★	大人・子供を含めたテニス部創設。 本年度は、コーチを付けて練習。
		ゴルフ会		年間2回
		ボーリング大会		★有料化(参加費:¥100徴収)
3	高齢者支援	敬老金支給制度		1世帯¥3,000(70歳以上)
		「西部ふれあいのつどい」 支援		賛助金納付(¥2,000)
4	健全育成	小学校卒業記念品贈呈		¥5,000前後の記念品
		児童文化事業		当自治会主催(西部児童館協力)で 劇及び図書・備品整備支援実施
		子供会補助金制度		当自治会員の子弟が所属する子供 会に対して、リサイクル品の回収作 業等の環境美化活動に対して補助を 実施(¥300/人)
		凧揚げ大会		独自多摩川クリーン作戦併設
5	防災	「防災士」の育成	★	「防災士」の資格取得による防災技 術検討能力の向上
		「調布市防災教育の日」 防災訓練に参加		5中防災訓練(避難所運営マニユ アル説明会)への参加
		避難所運営マニュアルの作 成と対応組織の編成		①五中防災会の運営支援 ②五中防災会の「避難所運営マニ ユアル」作成・検証の支援。
		マンションの「震災時対応検 討組織」の創設	★	会員マンションを中心に、大震災時 のマンション対応を検討する会議を 創設する。
		日本赤十字看護大学主催 の「地域防災セミナー」への 参加		実践的技術・知識の習得 役員参加目標=延6人回
		調布市水防訓練		参観。
		年末見回り		12月28日・29日
6	環境美化	独自多摩川クリーン作戦		年間1回
		子供会補助金制度 (環境美化)		4項参照。
		環境美化ポスタ募集		ポスタ選考・展示(BBQ大会で実施)
7	社会貢献	共同募金等への寄付		定額予算計上
		盲導犬育成支援	★	年間¥10,000寄付

(注1) ★印は、新設分を示す。

二本松自治会 H25年度 年間活動計画表(案) 兼 進捗状況表

H25. 4. 27 作成

実施月	役員会・総会	自治会活動	各種防災会	行政・他組織予定(想定)
4月	■6日(土)役員会 ■20日(土)役員会	■21日(日) バス旅行:いちご狩り		■14日(日)多摩川クリーン作戦 ■27日(土)「調布市防災教育の日」防災訓練
5月	□26日(日) 定期総会		□29日(水)五中防災会	□11日(土)調布市総合水防訓練 □30日(木)第1回西部児童館運営会議
6月	□1日(土)役員会	□22日(日)子供会補助金説明会・補助金支給 □16日(日) ゴルフ会・テニス会	□26日(水)五中防災会	
7月	□6日(土)役員会		□31日(水)五中防災会	□青木病院夏祭り
8月	□3日(土)役員会 □31日(土)役員会		□3日(土)五中防災会 備蓄倉庫見学 □28日(水)五中防災会	
9月		□7日(土)BBQ大会+環境美化ポスタ展 □中旬 敬老金支給 □28日(土)工場見学	□25日(水)五中防災会	
10月	□5日(土)役員会		□30日(水)五中防災会	□13日(土)地域防災セミナー(日赤看護大) □中旬(日)西部ふれあいのつどい
11月	□16日(土)役員会	□24日(日) ゴルフ会 □30日(土)ポーリング大会	□27日(水)五中防災会	□9日(土)地域防災セミナー(日赤看護大) □中旬(日)多摩川クリーン作戦 □中旬(日)西部児童館祭り
12月	□7日(土)役員会	□21日(土) クリスマスショー □28日(金)・29日(土) 年末見回り	□25日(水)五中防災会	□14日(土)地域防災セミナー(日赤看護大)
1月	□4日(土)役員会 役員新年会	□18日(土) 独自多摩川クリーン作戦 + 凧揚げ大会		□初旬(日)消防団出初式 □25日(土)地域防災セミナー(日赤看護大)
2月	□1日(土)役員会		□27日(水)五中防災会	□中旬(土)地域安全まちづくりセミナー □22日(土)地域防災セミナー(日赤看護大)
3月	□1日(土) 役員会	□中旬 小学校卒業記念品贈呈	□27日(水)五中防災会	□中旬(土)立川防災館体験学習
4月	□5日(土)役員会 □26日(土)役員会	決算事務・会計監査 次期役員人事(案)作成		□中旬(日)多摩川クリーン作戦 □26日(土)「調布市防災教育の日」防災訓練
5月	□25日(日) 定期総会			

(注) ■:実施済

[Ⅱ]平成25年度 予算 (会長・会計)

平成25年度予算の考え方は、次の通りです。

(1) 収入に関する考え方

- ① 戸建戸数: 予算値=71戸 (平成24年度=86戸)
- ② センチュリー・リバーサイド(42戸)は、2013年3月31日全員退会。
別途個別加入促進を図るが、予算計上はしない。
- ③ 回覧業務費・京王閣競輪場周辺地域対策費は、791会員で申請済。
- ④ 行事参加者は、原則有料。
また従来通り非自治会員の参加には、高額参加費を徴収します。

(2) 支出に関する考え方

(a) 事務費・行動費

- ① 事務費は、前年度実績予算比148%と大幅超過となった。但し、事務費+行動費で見ると予算比107%です。
事務費は、役員会等の資料印刷費、コピー用紙代、PCインク代、ファイル購入費等有り管理が困難な費目です。今後とも経費節減に努力致します。
- ② 行動費:平均¥2,400(バス代往復¥400+行動費¥2,000)×月3回×12ヶ月

(b) 慶弔費

慶弔費:弔慰金¥5,000×5件(実績から見て1件削減)

(c) 社会福祉費

定額寄付:¥30,000×年間4回。運動の名称は下記の通り。

- ① 日本赤十字社会員募集運動(募金)
- ② 調布市社会福祉協議会会員募集運動(募金)
- ③ 赤い羽根共同募金運動(募金)
- ④ 歳末助け合い運動(募金)

新たに、「日本盲導犬協会(盲導犬の育成費)への定額寄付(¥10,000)」を追加。

(d) 福利厚生費

- ① 敬老金対象者数:100名(昨年実績97名)で予算計上。
- ② バーベキュー大会:客席用テント代を増額
- ③ 地域内交流
 - ・ゴルフ会:2回/年。合計¥80,000補助。
 - ・ポーリング大会:¥110,000
 - ・テニス部:コーチ料@¥6,000×8時間+コート料@¥4,000×2時間×10回H25年度より新設。本年度は、4回程度コーチを付けて練習をするが、来年度以降はコーチを付ける回数は減少の見込み。当面、月1回程度実施する計画。

④ バス旅行

旅行の質を下げずに単価減(従来約¥9,500→¥7,200)を行うと共に、新たに見学料や入園料の発生しない子供も大人も楽しめる「工場見学」を企画して、質的向上を図りながら低価格旅行を実現する事とした。

- ・春のバス旅行:いちご狩り(当初予定=バス2台→応募者数が多くバス=3台!)
- ・秋の工場見学:飲み物・弁当持参の案

崎陽軒横浜工場・日本航空機体整備工場・キリン横浜ビアビレッジ

- ⑤ 子供会支援:320名×¥300で予算化
- ⑥ 小学校卒業記念品:50名×¥4,800
- ⑦ 児童文化事業費:児童劇出演料¥100,000+図書・遊具修理代¥20,000

(e) 防災会費

従来、調布市市民防災組織への補助金(¥30,000)による防災用品整備のみを考えて来ましたが、市民の防災技術(AED操作法、救命技術、災害時対処技術、等)の向上が重要であると考え、H25年度から本格的に防災技術力向上のための予算を設けました。また、費目を細分化し透明性を向上させました。

(f) 会議費
対前年予算比30%削減としました。

(g) 通信費
基本契約期間(2年間)を経過したため機器購入割賦代金がなくなったが、オプション機能を全て外しても最低限年間¥58,000程かかるため、正副会長・企画に対して定額電話料(月額¥500)を支給し、携帯電話を解約(解約料金¥11,600)する事で通信費を削減した。

(h) 雑費
① 物置場所代を、蓮井氏の御協力により月額¥15,000→¥10,000とした。
尚、新価格は、平成25年6月分より適用となります。

② 諸団体会費・寄付
寄付:八幡神社、青木病院夏祭り
会費:自治連協年会費+新春懇親会費(1名分)

(i) 予備費
H25年度で大きな変動見込みはないため、予備費は設けない。

-以上-

⑨ ガーデン 年内工

、エンゾとの防災対策について。

高令者の他独死について、考えのかわりかいはらた。

、会員数減少対策について